

令和6年度第2回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和7年(2025年)2月10日(月)10:00～11:30
- 会 場 横須賀市役所 3号館3階 302 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50音順)
笥 修一、柏木雅一、加藤 明成、佐野美智子、東海林義勝、高井 環
林 但、平井慶一郎
- 事務局 文化スポーツ観光部 倉林孝英部長
スポーツ振興課 高橋哲也課長、飯田武伸係長、前田幸一郎(記録者)
教育委員会事務局学校教育部保健体育課 小田耕生課長、津田尊夫係長
- 傍聴者 なし
- 議事内容 開会
1 議 題
令和6年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況について
2 意見交換
- 資 料 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿
2 令和6年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況
3 関係法令(参考資料)

【開 会】

事務局が令和6年度第2回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 横須賀市あいさつ

倉林文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

● 定足数の確認

12名の委員のうち8名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく過半数を超えていることから、会議は成立となった。

● 傍聴者の確認

傍聴者なし

2 議 題

令和6年度スポーツ・学校体育関係事業の進捗状況について

● 概要説明

事務局が資料1をもとに説明した。

【要旨】

- ・例年通り、市民スポーツ教室や市民レクリエーション行事などを行う予定。
- ・南体育会館は、天井等改修工事を終了し令和6年7月から運用を開始した。競技場、小体育室ともに空調設備が新設された。
- ・北体育会館温水プールは、天井照明のLED化に伴う工事で令和7年1月から3月まで休館する予定。

● 審議・意見交換

□ 委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

□ 委員

けがの予防は子供たちに必要なので「よこすかこどもスポーツ障害予防クリニック」はとても良い事業だと思う。子供のころのけがが成長してからの故障につながることもあるので、事前に予兆を発見できることは有意義であり進めてほしい。ただ、回数が年1回では少ないのではないかと。

□ 事務局

当日は、野球とサッカーで各100人を午前午後に分けて受付している。整形外科の医師10人、理学療法士数人、スタッフ数十人で対応している。医師、スタッフを確保するうえでのキャパシティー的に頻度を上げるのは難しく、一日だけでも苦勞している。テニスやバドミントンも肘等に、バスケットやバレーも膝に負担がかかり、大きなけがにつながることもある。対応する競技種目を増やせないかとの声もある。回数や種目を増やすための仕組みを含めて、次年度以降も検討していく。

□ 委員

指導のやりすぎなど、指導する側へのケアも行う必要があるのではないかと。

□ 事務局

指導者向けにも、ご指摘のような講演会を行っている。令和6年度は2回行ったが、各20人程度の参加者があった。

委員

レクリエーション・スポーツフェスタの際、障がい者の方も来場されて喜んでくれた。障がい者を受け入れるスポーツのすそ野を広げる考えはあるのか。

事務局

障がい者だけでなく健常者も一緒に参加できるようなイベントを行っていききたい。スポーツフェスタの中で、神奈川県パラスポーツ指導者協議会横須賀支部にはフライングディスク競技を開催していただいている。今後もこのように一緒に参加できる試みを検討していく。アイデアがあればいただきたい。

委員

11月に開催された日本パラ水泳選手権大会にボランティアで参加した。増田明美さんが、障がい者と健常者が垣根なく一緒にやれることを提唱している。実現すればよいなと考えている。

3 意見交換

委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様には忌憚のないご意見を頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

委員

横須賀だけでなく全国、神奈川県でも人口減が進み、高齢者の割合が高くなっている。高齢者が元気でいられるためにも高齢者向けの軽微な運動を進めてほしい。高齢者が元気で介護保険を使わずに長生きしてくれると若い人への負担も減る。現在、40才から介護保険料を支払っているが、財源が足りなくなると40才未満も支払うことになるかもしれない。市のバックアップで、高齢者がスポーツジムを無料や優待料金で利用できるようにできないか。ゴルフを趣味にしている高齢者も多いため、高齢者ゴルフ大会の開催や葉山国際カントリークラブの優待割引などもできないか。市はいろいろなスポーツイベントを行っているが、シニア向けのスポーツにも力を入れてほしい。

事務局

高齢者向けにお風呂券を配布しており、市内の温水プールでも利用可能である。

委員

お風呂券は、業種が広がったのは良かったが、利用対象者が一人暮らしの高齢者なので、対象者の枠も拡大してほしい。

事務局

体育会館のジムでも適用できるか検討していく。

委員

歩くことはすべてのスポーツに必要なことである。

1万メートルプロムナード・ウォークの今年度の参加者は330人とあるが、来年度の参加者が500人くらいに増えるように、高齢者も含めてもっとPRしたらどうか。

事務局

ピーク時の参加者は500人を超えていたが、コロナ以降は200人程度まで減少した。今年度は完歩賞に加えて、完歩者から抽選でマグロなどの魅力的なプレゼントも用意し参加者増を図った。来年度もまた、いろいろ考えていきたい。

委員

1万メートルプロムナード・ウォークは、開始当初は3月下旬に開催しており1,000人弱の参加者を得ていた。

開催月が11月3日に移行し、市のいろいろな行事と重なり参加者が分散、減少した経緯がある。

なかなか参加者が増えない現状ではあるが、3キロコースを作るなどの工夫しており、今後は徐々に増えていくと考えている。

□ 委員

ラジオ体操について、令和4年から郵便局が小学校に声掛けしなくなり、小学生の参加人数が減っていた。夏休みに地区内のラジオ体操の会場を順繰りに回ってみたが、小学生も参加しているし、参加者が10人弱から30人を超える会場までさまざまだった。夏休み以降も会場を回ってみた。町内の公園に花壇を作ろうといった新たな地域活動が生まれるなど、ラジオ体操の場で近所のコミュニケーションが良くなったとの声が多く聞かれた。

ある会場では、ラジオ体操に参加していた小学生が、高齢者との会話の中でグランドゴルフに興味を持ち、小学校の総合学習の授業とし提案し、地域のひとと一緒にグランドゴルフを体験した。その後も、遊びを通じてお互いの交流が続いている。

また、岩戸学区ではスポーツ推進委員にボッチャの指導要請があった。その時の参加者は小学4年生だったが、技術、戦略的にも高度であり、学校と体育振興会の関係がうまくいっている事例だと思う。

昨年度、武山地域の小学校に、参加したい行事のアンケートを取り、希望の多かったドッジボール大会を、武山小学校、富士見小学校、荻野小学校の3校で行った。約60人の参加者があり、保護者や地域の方を含めると200人ほどが集まった。今年度の参加者は150人近くまで増加し、保護者等も含めると380人までの行事になった。

市内の42学区を回り、体育振興会長、町内会長などの話を聞き、意見交換しているが、スポーツを通じた健康づくり、明るい地域づくりの面で、うまくいっている事例はたくさんある。逆に苦戦している地域も若干あると感じている。

□ 委員

今年度、横須賀市ラジオ体操連盟が発足し、レクリエーション協会に仮加盟する。今後、ラジオ体操だけでなく、協会に加盟している10団体との交流の中で、何か広げていけるのではないかと考えている。

□ 事務局

ラジオ体操は、郵便局の簡易保険が中心で広げてきた。

南関東ラジオ体操連盟、神奈川県ラジオ体操連盟の会長は横須賀の方なのに、横須賀に支部が無いことで肩身の狭い思いをしていたと聞いている。そこで、昨年4月に横須賀市ラジオ体操連盟を立ち上げ、10月にイベントを開催した。3月にもイベント開催を予定している。ラジオ体操は競技性がないので、市のスポーツ協会ではなくレクリエーション協会に来年度から仮加盟する予定である。

ドッジボール大会の開催はすごく良いと思う。野球やサッカーは専門に行っている子供達が活躍してしまうが、ドッジボールは誰もが行ったことがあり、大人も子供も参加でき垣根が低く、輪が広がりやすい。市内の各地区で広がっていけばよいと思う。市がお手伝いできることがあれば相談してほしい。

□ 委員

中学校の部活動の地域移行が予定されている。土・日曜日の練習については、学

校の部活動から地域に移行していく。部活動を行っていない中学生が運動をする場が問題となってくる。先ほどの委員のお話のように、部活動では行っていないレクリエーションやドッジボール、ラジオ体操など、そういった子供たちが参加できる運動の機会を地域の方が動いて作っていただくことは、ありがたく思う。小中学生の生涯体育にもつながるのではないかと思う。

□ 委員

横須賀市として夏場の子供たちの熱中症対策を啓発できたらよいと思う。今年も真夏の試合があると思うので、熱中症対策で何かいい案があれば提案していきたい。

□ 委員

市民の皆様にスポーツに触れる機会を提供するため、スポーツ協会では様々なスポーツイベントを開催している。今回は、保護者が子供の食事の栄養的なことに意識を向け、食生活を見直すための講演会、「成長期のアスリートの食事と栄養の基本」を開催する。今年で3回目となるが、多い時には80名程度の聴衆を得ている。また、けがを予防するための体幹を鍛える運動の教室を小学生対象に7年間続けている。いろいろなアプローチをしながら、スポーツで横須賀を元気にするために精進している。

□ 委員

スポーツフェスタに参加し、障がい者スポーツを子供や大人に体験していただいた。それがきっかけとなったのか、総合学習の枠で小学校2校から依頼があり、横須賀には全国2位の選手を講師として授業を行ってきた。小学生が障がい者の方からスポーツを教わる体験をしてもらうことができた。今後も、イベントの際にはお声掛けしていただきたい。

- 以上で、審議が終了し閉会した。